



## An information Magazine for the International Community in Kochi 中国語生活情報冊子「土佐 Wave (中国語版)」2017年6月号 (Vol.21) 発行:(公財)高知県国際交流協会

2017年3月4日，“志国高知幕末维新博览会”正式拉开了帷幕，整个高知县都参与其中，县内很多地方都飘扬着旗帜，放有宣传单页。也许有很多人已经看到过了吧。那么，关于此次博览会，您了解多少呢？为了让各位外国朋友更多地了解此次活动，我们决定以此为本期主题。

# "志国高知 幕末维新博览会"

しこくこうち ばくまついしんはく  
「志国高知 幕末維新博」

平成29年3月4日、高知県全体を巻き込んだ一大イベント「志国高知幕末維新博」が開幕しました。県内各所に置いてある旗やピラをの目にした方も多いかもしれませんが、この維新博についてご存知でしたか。是非外国人の皆さんにもこのイベント

### Q1. 究竟是什么博览会呢？

时间追溯到幕府末期（19世纪后期），土佐藩（今高知县）涌现了许多伟人，至今依然让人们津津乐道，除了坂本龙马之外，还有中冈慎太郎，约翰万次郎，岩崎弥太郎等等。“志国高知幕末维新博览会”就是为了让让大家了解究竟是怎样的自然、风土、饮食以及文化环境孕育出了如此卓越的伟人。

### Q2. 什么时候、在什么地方举办呢？

第一期是从2017年3月4日到2018年3月31日。第二期是从2018年4月1日开始，为期1年。此次博览会会有两个主会场，分别是“高知城历史博物馆”和“坂本龙马纪念馆”（现在为了迎接博览会第二期，正在加紧装修现有场馆，建设新馆，预计2018年春季全面开业）。另外还有一个分会场——“高知旅游广场”，以及20个分会场，分布各地，都是与幕末维新的武士们颇有渊源的地方历史文化设施。每个会场都展出了珍贵的历史资料。

此次，国际交流员(CIR)和KIA工作人员除了“高知城历史博物馆”之外，还拜访了与幕末维新时期志士——岩崎弥太郎、中冈慎太郎有关的地方。

トについて知ってもらいたいと思います、今回の題材として取り上げました。

### Q1. 何を催すイベントなの？

時をさかのぼること幕末（19世紀後半）、土佐藩（高知県）からは坂本龍馬をはじめ、中岡慎太郎、ジョン万次郎、岩崎彌太郎など、今も語り継がれる多くの偉人が世に出ました。「志国高知幕末維新博」は、そんな偉人たちが育んだ時代につながる土佐のすばらしい食や自然、風土や文化を知ってもらおうという博覧会です。

### Q2. いつどこで開催されているの？

第一幕は平成29年3月4日～平成30年3月31日まで、第二幕は平成30年4月1日から1年間の開催が予定されています。2つのメイン会場「高知城歴史博物館」及び「坂本龍馬記念館」（現在第二幕に向けて、既存館のリニューアルと新館の建設中、グランドオープンは平成30年春季の予定）、サブ会場の「こうち旅広場」、そして幕末維新の武士たちゆかりの地の歴史文化施設など20の地域会場において、貴重な歴史資料の展示が行われています。

今回、国際交流員（CIR）とKIAスタッフは、「高知城歴史博物館」をはじめ、幕末維新时期を生きた「岩崎彌太郎」と「中岡慎太郎」のゆかりの地を訪れました。

## 高知城历史博物馆

伴随着“志国高知幕末维新博览会”的开幕，博物馆于今年3月份正式开馆。应该有不少人注意到了高知城脚下风格独特的这个建筑物了吧。不管是大人还是儿童，都可通过馆内的众多展览品了解和学习土佐的历史文化。现在还设有幕末维新博的专题展览和企画展。

## 高知城歴史博物館

志国高知幕末維新博の開幕にあわせて今年3月にオープンした博物館。高知城のたもとに際立つデザインの建物をの目にした方も多いいのではないしょうか。子供から大人まで展示物を通して土佐の歴史文化を学べる仕掛けが沢山！幕末維新博の特集展示や企画展も催されています。



在3楼的展览厅一览高知城

3階の展望ロビーからは高知城を一望できる



3楼的展览室 这里展览着土佐藩山内家族\*留下来下来的珍贵资料，还有以坂本龙马为代表的活跃在幕末时期的土佐伟人的相关物件。展览品定期更新，因此无论来几次都会有新的发现！

3階の展示室  
土佐藩山内家\*伝来の貴重な資料や坂本龍馬をはじめ幕末に活躍した土佐の偉人たちの関連物を展示。展示品は定期的にリニューアルされるため、いくど訪れても新しい発見があるはず！



~高知市CIR 柳鶴太朗の感想~

“高知城歴史博物館是最适合于接触高知历史的设施。博物馆针对外国游客的对应措施也很完备，3楼的展览室内可免费使用英语·中文·韩语·泰语的语音导览指南。即使是对历史不太感兴趣的游客，也可充分感受这一最新设施和高知城的绝景。1楼有许多对高知县整体的介绍信息，在2楼的露台可以一边眺望高知城一边享受美食。1楼和2楼都可免费使用。不论是高知当地居民还是来高知的游客，高知城歴史博物館都推荐一看！”

~高知市CIR 柳鶴太朗さん感想~

「高知城歴史博物館は高知の歴史に触れるには最適の施設だと思います。博物館では外国人対応が充実しており、3階の展示室では英語・中国語・韓国語・タイ語による展示音声ガイド(無料)を利用できます。あまり歴史に興味が無い人も、最新の施設と高知城の絶景を満喫できます。1階には高知県全般の情報が入り、2階のテラスでは高知城を眺めながら飲食を楽しめます。1階と2階は入場料無料です。高知にお住まいの方、高知を訪れた方、高知城歴史博物館は必見です！」



试穿第15代土佐藩主山内容堂所有の陣羽織。陣羽織是指武士上阵时穿在铠甲外边的罩衣。

15代目土佐藩主山内容堂が所有していた陣羽織を試着してポーズ。陣羽織は武士が戦のときに鎧の上に着た上着

另外，我们还推荐的是“针对外国人的日本文化体验教室”和“星期日集市料理体验教室”等。馆内还开展文化交流活动，通过穿戴和服、茶道等文化体验，更好地学习有关土佐与日本的历史文化。详情请浏览官方网站。

※土佐藩山内家族：从江戸时代到明治时代初期，代代掌握土佐藩实权的藩主。初代藩主为山内一丰。

○高知城歴史博物館

地址：高知市追手筋2-7-5  
主页：http://www.kochi-johaku.jp/

他にも、私たちがオススメしたい内容として、「外国人向けの日本文化体験教室」や「日曜市料理体験教室」などがあります。この施設内で開催されている文化交流イベントであり、着付けや茶道等、文化体験を通して土佐や日本の歴史・文化について学べる良い機会です。詳しくはホームページをご覧ください。

※土佐藩山内家：江戸時代から明治時代初めまで、代々土佐藩の実権を握っていた藩主。初代藩主は山内一豊

○高知城歴史博物館

所在地：高知市追手筋2-7-5  
ホームページ：http://www.kochi-johaku.jp/

土佐の破天荒 岩崎弥太郎の大志

岩崎弥太郎出生于安芸市井ノ口，他构筑了闻名世界的三菱集团的基础，是幕末屈指可数的经济人才。

1854年他前往江戸学习之际，据说父母卖掉了祖先传下来的山林，筹措出他求学的费用。我一边感叹这种行为即使放在当代都颇具勇气，同时也明白了为什么弥太郎的性格会如此英勇豪迈。1855年，非常遗憾因父亲受伤，他回到家乡前往衙门诉讼致其父亲受伤的庄屋(村长)，在衙门的墙壁上写下诉讼文反被投入监狱。是这次入狱体验激起了弥太郎的反抗精神，还是他本来就是有血性之人，我们不得而知，他却因此改变了成为儒学者的人生道路，转而踏上为土佐藩·国家奋斗的商业之路。另外，据说他在监狱中从一个商人那里学到了做生意的技巧，这正如中国的《道德经》所说的“祸兮福之所倚，福兮祸之所伏”。之后他进入吉田东洋\*的少林塾学习，与后藤象二郎\*交好，被吉田东洋赏识，开启了商业人生之路。



と 土佐の破天荒、岩崎彌太郎の大志

岩崎彌太郎は安芸市井ノ口に生まれ、世界に名だたる三菱グループの礎を築いた幕末屈指の経済人だ。

1854年に江戸に勉強に行く際、両親が先祖伝来の山を売ってその費用を捻出したといわれている。現代でもかなり勇気のある行為だと思うと同時に、なぜ彌太郎がそんなに豪胆な性格を持ったのかも分かるようになった。1855年、残念なことに父親が重症を負わされたことから帰省した彌太郎は、奉行所へけがを負わせた庄屋を訴えた際、落書きをして投獄された。この入牢体験が彌太郎の反骨精神をかきたてたか、もともと血の気が多すぎたのか、儒学者になるという道を変え、土佐藩・国のために商業の道に進む転機となった。加えて、そこで商人から商売のノウハウを学ぶ機会があったともいわれ、これはまさに中国の『道德経』の「災いは福の寄る所、福は災いの伏す所」の言う通りだと思う。その後彼が吉田東洋\*の少林塾に入門し、後藤象二郎\*と親交を持つようになるとともに、吉田東洋に目を掛けられ、商業人生の道を開いた。



※吉田东洋(1816~1862)：在第15代土佐藩主手下掌管国政，推出各种各样的政策。后被暗杀。

※后藤象二郎(1838~1897)：吉田东洋の外甥，深受第15代土佐藩主信任，年轻时就被委以藩的重任。

※瓦片墙 在安芸地区经常可以看到。在房屋前面使用红黏土与瓦堆砌而成的结实墙壁。瓦墙上面的瓦屋顶也独具特色。这种砌墙方式从幕府末期开始延续至今。

※瓦線塀 安芸地域によくみられる、屋敷の前にある塀で赤土と瓦で積み上げた丈夫なもの。上部には瓦屋根が付いているのも特徴。幕末から近代にかけて造られた。

武士曾经居住的丹青不渝的古街道 土居廓中

这条街道中曾经居住的武士效力于土佐藩主山内一丰的家臣五藤家族(曾统治高知东部)。踏入这片宅邸区，就能感受到一种高规格的氛

武士が暮らした色あせない町、土居廓中

土佐の藩主山内一豊の家来である五藤家(高知東部を治めた)に仕えた武士が暮らしていた屋敷町。足を踏

围。我们见到了只有安艺市（曾是瓦的产地）才有的瓦片墙※与使用蓬莱竹搭的树篱。据说这不但可以防止敌人袭击，还可以保持房子冬暖夏凉。外观看起来也非常美观，颇具艺术性。我感到吃惊的是，宅子里面大多还住着人！



据说这是岩崎弥太郎描述自己宏图大志，自己摆放的

壮大な夢を描きながら、自らくみ上げたという

当我进入土居廊中后，正想着岩崎弥太郎出生的家在这条十字路上的哪里呢？听到导游的话之后顿时惊醒。原来土佐身份制度很严苛，岩崎家族当时不允许住在廊中。距离廊中有一段距离的地方，有一座茅草屋顶的房子历经220年的风雨保存至今，庭院中模仿日本列岛摆放的石头是一大看点！

み入ると、格式高い霧田気が漂う。かつて瓦の産地であった安芸市だけに瓦練堀※や、土用竹で組まれた生垣が見られた。これは敵の襲来を防ぎ、また夏の暑さや寒さをしのぐためにあるといわれる。見た目にも芸術的で美しい。屋敷の中のほとんどは、まだなお住人がいるというのにびっくり！

土居廊中に入って、岩崎彌太郎の生家はこの十字路のどこにあるの？と思った矢先、観光ガイドの方の話聞いて驚いた。実は土佐は身分制度が厳しく岩崎家は廊中の中に住めなかった。少し離れた所に220年の雨風に耐えて残る茅葺の生家があり、庭には日本列島を模したといわれる庭石が配置されているのは見所！

### 天气晴好时，租赁自行车去游览安艺吧！

想要巡游安艺市的幕府末期历史遗迹，租赁自行车也是不错的出行选择。在安艺市的观光信息中心可以免费租借。游客们可以一边欣赏当季的景色一边根据自己的节奏骑行。另外，如果事先申请的话，还可以预约一位坦率直爽、知识丰富的观光志愿者导游为您向导，更会加深您的理解。大家一起来感受一下安艺豪壮的历史与岩崎弥太郎的雄心壮志吧。观光志愿者的详情请咨询安艺市商工観光水产課（Tel 0887-35-1011）。



### 天气の良い日はレンタル自転車でGO!

安芸市の幕末の史跡を巡るには、レンタル自転車も選択肢のひとつ。安芸駅構内の観光情報センターにて無料で借りられます。季節の景色を楽しみながら自分たちのペースでサイクリング。また、事前申し込みをすれば、気さくで知識も豊富な観光ボランティアガイドの方が案内してくれるので、さらに知識が深まりました！皆さんも壮大な歴史の流れと岩崎彌太郎の志を肌で感じてみてはいかがでしょうか。観光ボランティアの詳細は安芸市商工観光水产課（Tel 0887-35-1011）まで。

## 中岡慎太郎—坂本龍馬の盟友

坂本龍馬※の盟友—中岡慎太郎※也是幕末时期的英雄人物之一，在历史上有着举足轻重的地位。想要了解他的伟大事迹，青山环绕的中岡慎太郎館绝对是不容错过的最佳选择。坐着巴士沿坡缓缓而上，顿时感受到一片宁静祥和的气息，仿佛一瞬间回到了古代。

赶紧进去一探究竟吧！馆内共有两层，资料详实，内容丰富多彩。一楼设有多个显示屏和音响，会适时播放视频资料和语音介绍。走在展厅里，你会感觉慎太郎的人生好像就展现在自己的眼前。二楼展示了大量的珍贵资料。看着一封又一封的书信，脑海里不禁浮现了慎太郎为了维新而四处奔走的身影。



当你站到入口处，视频就会自动开始播放，仿佛转瞬之间就回到了幕末时代。

入り口に立つと、映像が流れ始め、一瞬のうちに幕末の世界に戻ったような気分になります。

※坂本龍馬(1835～1867)：江戸時代末期、为打破旧体制设立明治新政府而在全日本奔走尽力。  
※中岡慎太郎(1838～1867)：与坂本龍馬一道为幕末维新做出贡献的重要历史人物。后在京都与龍馬一起被暗杀。

## 中岡慎太郎—坂本龍馬の盟友

坂本龍馬※の盟友—中岡慎太郎※も時代を動かした幕末の英雄の一人です。緑の山々に囲まれた中岡慎太郎館は慎太郎の生き様に触れることができる絶好の場所です。バスで坂道を登っていくと、タイムスリップしたかのような落ち着いた霧田気が漂っています。

早速館内に入ってみましょう！2階建ての施設には、資料が豊富で、内容も充実しています。

1階ではパネルの映像や音声等を通して、慎太郎の人生が目の前に広がっているように感じます。

2階では貴重な資料が展示されています。多くの手紙に目を通すと、慎太郎が維新のために奔走していた姿が脳裏に浮かんできます。



顺着慎太郎的人生轨迹一路看下来，钦佩之情油然而生。

その時代に思いを馳せながら、慎太郎の人生の歩みをたどっていくと、思わず感激しました。

※坂本龍馬(1835～1867)：江戸時代の末期、旧体制を打ち破り明治新政府設立のため日本中を駆け回った

※中岡慎太郎(1838～1867)：坂本龍馬と共に幕末維新の立役者となった人物。後に京都で龍馬と共に暗殺された

### 中岡慎太郎の家乡—被丰饶大自然所环绕的北川村—

走出慎太郎馆，不远处就是重建的慎太郎旧宅，让人不禁想像慎太郎曾经在这里生活的情形。如果你还想更多地感受慎太郎的气息，在北川村四处走走看看也是一个不错的选择。

### 中岡慎太郎のふるさと—豊かな自然に囲まれた北川村—

慎太郎館から外に出ると慎太郎の当時の生活が想像できるように生家の復元が建築されています。慎太郎の遺産をさらに味わうためにも北川村を散策してみることをお勧めします。

从奈半利车站出发，坐巴士约10分钟就能到达“莫奈的庭院”，是根据画家克劳德·莫奈在吉维尼的自家庭院修建的。再往前走一点还有广为人知的“豪气男拉面”和咖啡厅。另外，慎太郎当初鼓励种植的柚子已经成为这里的重要产业。每年11月，北川村还会举办柚子节噢。

要不要来北川村通过点滴痕迹探寻慎太郎的昔日荣光呢？

### ○中冈慎太郎馆

地址：安芸郡北川村柏木140番地

主页：<http://www.nakaokashintarokan.net/>

奈半利駅から約10分程バスに乗ると画家クロード・モネが愛したジヴェルニーにある庭に基づいた「モネの庭」があります。もう少し行くと有名な「いごっそうラーメン」や喫茶店があります。また、慎太郎が積極的に奨励したゆずの栽培が現在の村の重要な産業になっています。毎年11月には北川村ゆず祭りが開催されています。慎太郎の残した功績について体験しながら学べる北川村まで足を運びませんか。

### ○中岡慎太郎館

所在地：安芸郡北川村柏木140番地

ホームページ：<http://www.nakaokashintarokan.net/>

此次将为大家介绍两位在农业领域工作的技能实习生<sup>\*</sup>，他们来自高知县的姐妹都市——菲律宾北部的本格特省。



本県の姉妹都市であるフィリピン北部ベンゲット州より、技能実習生<sup>\*</sup>として農業分野で働いている2人を紹介！

※技能实习生是指以3年为最长期限，接收来自发展中国家的实习生，通过他们将先进的技能、技术与知识传输给发展中国家，以协助发展中国家经济发展的制度。截止到2016年4月，高知县已经接收了920名实习生在县内从事各种产业（农业、渔业、工业、食品加工等），每天努力学习技术。

※最長3年の期間において、技能、技術又は知識の開発途上国等への移転を図り、開発途上国等の経済発展に協力することを目的とした制度。高知県内では2016年4月時点で約920名の実習生が県内の産業（農業、漁業、工業、食品加工など）に貢献し日々技術を学んでいる。



克林特先生  
クリントさん



#### 平常的生活情况如何？

どんな生活を送っていますか？



“在须崎市的农民家中工作，主要从事韭菜的栽培、收割与出货作业。平常住在宿舍里，多与朋友交替着做饭。休息日与其他实习生或者农民一起策划活动，有时会一起跳传统舞蹈。”

『仕事は須崎市の農家にて、ニラの栽培・収穫・出荷作業など。寮で暮らしていて料理は仲間と交代です。お多い。休日は他の実習生や農家の方と一緒にイベントを企画して伝統のダンスを披露することもある。』



弗雷迪先生  
フレディさん



#### 对高知印象如何？

高知はいかがですか？



“高知人热情，景色秀丽，空气新鲜，生鱼片很好吃！有很多高科技的农业机械与设施。”

『人が温かい、景色と空気が綺麗、刺身がおいしい！ハイテクな農業機械や施設がたくさん。』



#### 回到本格特省之后有什么打算？

ベンゲットに帰ってからのプランは？



“准备继续从事农业，想把在农业技术发达的高知学习到的塑料大棚栽培等先进的技术带回自己国家并传授至其他人。为了种植出优质的蔬菜而努力。”

『継続して農業に携わり、農業が盛んな高知で学んだハウス栽培などが先進した栽培技術を持ちかえり周りに広めたい。そして質の良い野菜を作るために尽力したい。』

在农业现场实习之前，他们每天充实地学习8个小时的日语与在日本生活的规则。先行到达高知的前辈指导培养后辈，帮助后辈解决在生活中遇到的问题。同时，他们也得到了当地人的信赖与喜爱。回国之后仍然希望灵活利用在高知的实习经验与人脉，为当地的农业发展做贡献。

### KIA工作人员与CIR的心声 KIAスタッフとCIRの声

農業現場での実習に入る前に、みっちり1日8時間の日本語学習や生活のルールを勉強した彼ら。先に来高した先輩が後輩を指導し育て高知での生活をサポートしているのが伝わりました。また、地域の人からの信頼は厚いようでした。帰国してもぜひ高知での実習経験と人脈を生かし、現地の農業の発展に寄与してほしいと思います。

発行：公益財団法人高知県国際交流協会（KIA）  
電話：088-875-0022 FAX：088-875-4929 Email：info\_kia@kochi-kia.or.jp  
投稿：CIR・KIA 職員  
中文翻译・校正：張 慧杰（县厅CIR）  
Tosa Wave 博客：<http://tosawave.blogspot.jp/>（在博客可以看彩色照片）

発行：公益財団法人高知県国際交流協会（KIA）  
電話：088-875-0022 FAX：088-875-4929 Email：info\_kia@kochi-kia.or.jp  
投稿：CIR・KIA スタッフ  
中文翻译・校正：張 慧杰（県庁 CIR）  
TosaWave ブログ：<http://tosawave.blogspot.com/>（カラー写真をご覧ください）